

業種別労働災害発生状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日（令和6年12月末現在・速報値）

留萌労働基準監督署

業種別	区分			令和6年			令和5年同期			対前年		業種割合 (%)	令和5年確定値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	死亡	休業	合計				
全産業計	1	53	54		72	72	-18	-25.0	100.0		78	78			
製造業		9	9		10	10	-1	-10.0	16.7		11	11			
食料品		6	6		9	9	-3	-33.3	11.1		9	9			
木材木製品		1	1				1		1.9						
紙・パルプ															
窯業・土石		1	1				1		1.9						
金属・機器															
その他		1	1		1	1			1.9		2	2			
鉱業															
土石採取業															
建設業	1	10	11		9	9	2	22.2	20.4		9	9			
土木工事業	1	6	7		6	6	1	16.7	13.0		6	6			
建築工事業		1	1				1		1.9						
木造建築業		1	1		2	2	-1	-50.0	1.9		2	2			
その他		2	2		1	1	1	100.0	3.7		1	1			
道路貨物運送業		1	1		8	8	-7	-87.5	1.9		9	9			
その他の運輸業		2	2		1	1	1	100.0	3.7		1	1			
陸上貨物取扱業		1	1				1		1.9						
港湾荷役業															
林業		2	2				2		3.7						
漁業		2	2		2	2			3.7		2	2			
卸・小売業		3	3		6	6	-3	-50.0	5.6		6	6			
清掃業		2	2		1	1	1	100.0	3.7		1	1			
その他の事業		21	21		35	35	-14	-40.0	38.9		39	39			

本統計は、労働者死傷病報告（休業4日以上）により作成したものです。

お知らせ

- 令和6年中に発生した休業4日以上労働災害のうち、令和6年12月中に新たに把握したものは7件です。
業種別では製造業1件、建設業1件、その他の運輸業1件、卸・小売業2件、その他の事業2件、事故の型別では墜落・転落2件、転倒4件、はさまれ・巻き込まれ1件です。
冬季特有の転倒災害が最も多く、今後急増する可能性があることから、注意が必要です。
- 令和6年12月1日から令和7年3月31日まで「北海道冬季ゼロ災運動」、令和6年12月1日から令和7年1月15日まで「年末年始無災害運動」を展開中です。
留萌労働基準監督署の管内は令和6年1月中旬に暴風雪に見舞われることが複数回あったことから、**交通労働災害及び除雪作業時の重機災害等の各種対策を万全にして、冬季に多発する労働災害の発生を防止しましょう。**
- 令和7年1月1日からは、**労働者死傷病報告の提出が電子申請で行うことが義務付けられます。**
災害発生状況をよりの確に把握するための改正でございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。